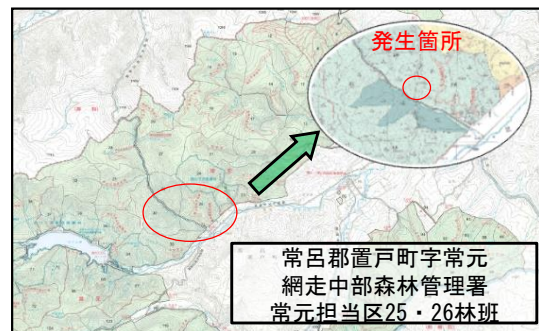


林野火災の発生

- ・発生日時：不明
- ・覚知日時：令和6年7月3日（水）8時31分（北見消防本部覚知）
- ・鎮圧日時：令和6年7月5日（金）19時40分
- ・鎮火日時：令和6年7月9日（火）13時15分
- ・出火場所：常呂郡置戸町字常元
網走中部森林管理署 常元担当区 25・26林班
- ・出火原因：不明（雷等の自然的原因と考えられるが、確証なし）
- ・被害状況：延焼面積1.07ha、人・建物等への被害なし



林野火災発生箇所

林野火災消火活動等の対応

＜発生個所の確認＞

- ・最寄りの林道から現地へ向かう。地表面が延焼し、煙が立ち込めている状況を確認。現地までは急傾斜地を通過することから、今後の消火活動が非常に困難となることが予想された。
- ・ドローンを利用し、上空からの確認も実施。煙は上がっているが、立木等が燃えて炎が見える状況ではないことが確認できた。



＜発生個所確認後の対応＞

- ・付近の人工林で間伐履歴があり、集材路が作設されていることを確認。資材運搬路として利用できそうだったため、重機による資材運搬路の開設を要請。（開設された資材運搬路：延長：約660m、高低差：約110m）
- ・可搬ポンプ等の資機材運搬のためフォワーダ（積載式集材車両）を手配。完全撤収まで資機材運搬に活用された。
- ・ヘリコプターによる空中消火が要請されたことから、当署からも空中消火用の資機材（消火剤及び攪拌機）をヘリポートへ運搬。

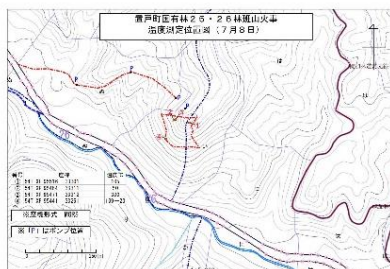


【一般的な森林火災の区分】

「林地火災」－地表火・地中火

「樹木火災」－樹冠火・樹幹火

今回の火災は「地中火」に当たり、土壌有機物が燃えることで広がるが、炎を上げない特徴があるとともに燃烧速度が遅く、地中で時間をかけて燃烧するため、地表の火災を消火しても燃烧し続ける可能性が高いとされている。



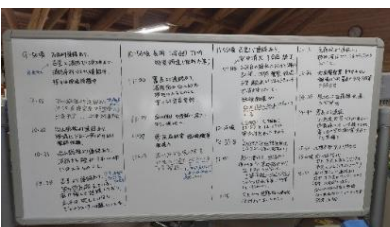
林野火災対応への課題等

・情報の共有方法

署内ではホワイトボードを利用して情報が整理されていたが、情報伝達が一方的になることが多かった。

・空中消火機材

職員の人事異動がある中、当署にある機材については在庫確認はされていたが、使用方法等の周知・確認が不足していた。



※ご協力いただきました各関係機関の皆様、大変ありがとうございました。